広報
いまかね
健康で勤労にはげむ明るい町にいたしましょう。（町民憲章より）



トレーニング室で大はしゃぎ

鈴岡家庭教育学級のお母さんたち

農閑期を生かしていろいろ勉強しようーと、昨年12月に発足した鈴岡家庭教育学級のお母さんたち37人は1月25日、総合体育館のトレーニング室で体力テストに挑戦。バーベルをもち上げたり、ランニングトレーナーでかけ足するお母さん。（写真）日ごろ家庭にとじこもりがちな主婦も、この日ばかりは大はしゃぎ。「冬の運動不足も体育館にくれば解消しますね」と語ってくれる石川岩子さんやみなさんは、とくに健康管理に強を入れてきただけにとても意欲的です。

'77年
2月号
No. 224

生活環境の整備に強い関心

12会場に300人

町政懇談会

新年度予算編成に当たり、町民のみなさんから町政に対する意見・要望を広く聴取して明るく住みよい町づくりを―と、毎年開かれている町政懇談会。

ことしも、一月十七日から二十二日まで各部落に出向き十二会場で開かれましたが、合わせて三百人余りの参加者から地域の切実な要望や町づくりのための建設的な意見が二百件も出されました。



新しい住吉生活改善センターで熱心な話合い

意見は積極的に町政へ反映

各地区の懇談会には、町長・教育長・各課長が出席。まず、町長が新年度の開発予算について①美利河多目的ダムの調査促進②利別川直轄かんばい事業は、前年並の事業費が確保され、③今金東部開発調査推進には、新規に千六百万円の調査費が確保されたと、国・道・町の事業に分けて懸案事項を説明しました。

このあと地区の代表が司会に当たり活発な意見や要望が出されましたが、それに対して町理事者がそれぞれの対策、将来の見通しについて直接答えました。

十二会場では、いぜん道路、側溝の整備、除雪問題が中心。また、生活環境の整備にも強い関心が寄せられました。

町ではこれらを尊重し積極的に町政におり込みますが、今後も意見、要望は、いつでも気軽にお聞かせください。おもな問題と回答は次のとおりです。

◇防犯灯の設置、街路灯の維持費の助成を（美利河・今金）＝防犯灯は現地検討し設置したい。街灯の補助基準も規定したい。

◇早期除雪を（全町）＝集乳車の入る前にとの要望は当然であるが、各支線の巡回により遅くなる。時間帯を検討し努力する。

◇市街地国道の拡幅、歩道の設置（種川）と歩道の除雪を（花石）＝交通安全上からも早期実現のため関係機関に要請している。

◇美利河ダム建設の見通しは（美利河）＝着工は五十四年頃の見通しなので、学校などの移転は五十六年以降になる見込みである。

◇季節保育所の開設、生活館などの維持管理を（金原ほか）＝季節保育所は前年同様に実施、維持管理費などは町と部落の経費負担について明確にするよう運営委員会で内規等を定めたい。

◇患者輸送車の回送を（田代・豊田）＝花石・日進の診療所廃止に伴って実施したもので、路線内の運行時間等を考慮のうえ検討する。

◇高校生の通学バスを運行して（金原・神丘・日進）＝中学校統合問題等もあり、今後総合的に検討したい。

◇光台スキー場の活用促進と整備を（種川）＝昨年から利用者が多いと聞くが、除雪や交通安全施設を検討し交通網の整備を図りたい。

◇墓地の整備と維持管理を（八束・豊田ほか）＝将来、火葬場の統合も考慮し、墓地公園も造成する計画でいる。

◇奥沢から八雲間の道路開設を（中里）＝八雲側の林道から入って見てはいるが、将来のために建設常任委員会などで現地調査したい。

◇種川に湧出している温泉の活用と今後の計画は（種川・田代）＝昨年実施した地下資源調査の結果を待って結論を出したい。

◇金原・日進間の農免道路の開設を（金原・日進）＝一部路線の調査を終え調査費等を査定しているので、明年度後には事業に着手できる見込みである。

◇住吉乗降場から国道までの舗装を（住吉）＝全町的に舗装率が低く市街地でも未実施が多いので、砂利などで補修したい。

◇市街地山手線の道路拡幅と舗装工事を本年度実施して（今金）＝住宅が散在なので、まだ決定してないが考慮中で拡幅はまず測溝整備により多少広く利用できる。

◇濁川地区に上水道の設置を（八束）＝当初の山振計画に入っていないので、今後の計画変更により取り組めるよう検討している。

◇馬が現在高値といわれるので飼育を奨励しては（今金）＝農畜産業は地力の維持増進から重要である。農業委員会から町農業振興対策についての諮問答申書もきているので、今後の方策を知らせたい。

◇稲作の買入れがきびしいが今年の指導は（今金）＝新規道田もあり、畑作からみて農作物であるので限度数量の増大と自主流通米の対処に努めたい。

◇農集電話の一般化推進を（豊田ほか）＝電報電話局に要請し早期実現に努めたい。

◇消防水利計画の作成と消火器の助成を（種川・中里）＝防火用水の確保は消防支署で計画を進める、消火器は各戸で完備願いたい。

冬期間のスリップ事故が大半

昨年の交通事故から

死者１人、負傷者37人



国道中里～種川間の急カーブは、とくに事故が多い

昨年一年間に町内で発生した交通事故（人身事故）は発生二十四件で死者一人と二十七人の負傷者を出しています。

前年と比べ件数が二件、負傷者が十人とふえ、死者一人により死亡事故ゼロ四二七日でストップしました。

この中で、車どうしが十二件、車と自転車が二件、車と歩行者が四件あります。

事故原因をみますと、車側では雪道でのスリップ事故七件、安全確認不足五件がおもなもので、路外転落が三件あります。また、自転車や歩行者側では、運転者の脇見運転、前方不注意のため大きな事故につながっています。

昨年函館方面本部管内の交通事故による死者は五十四人で、前年を一〇%も上回り、伸び率では道内のワースト2という暗い記録を残しました。

本町においても例外でなく、昨年七月二日美利河橋での死亡事故により二年連続不名誉な犠牲者を出していますが、事故絶滅の願いをこめて、昨年一年間の事故内容を分析してみました。

（資料は今金警察官派出所提供）

早やくも死亡事故発生

負傷者13人・物損事故も12件

昨年の交通事故は死亡事故ゼロを続けようという、みんなの切実な願いもむなしく、早やくも本町から悲惨な犠牲者が出てしまいました。

死亡事故は一月二十九日住吉の国道で道路を横切ろうとした中里の遠藤タケシさん（63歳）が倶知安町に住む伊藤さん（32歳）の運転するトラックにはねられ、頭と胸の骨を折り、病院に運ばれる途中、死亡しました。

ことし一月末での交通事故は、すでに人身事故六件、物損事故十二件、負傷者は十三人にのぼっています。事故の状況をみると、吹雪時の追突・衝突が大半を占め、おもに国道二七七号線の美利河～種川間、道々種川～北檜山線に発生しています。この異常ともいえる勢いで発生している交通事故に今金警察官派出所では「吹雪・豪雪がひどいとはいえ、無謀運転が多すぎる。冬期間は車間距離を保ち、安全速度を守るという慎重な運転を心がけてほしい」とドライバーに強く呼びかけています。

原因と思われます。このことは、道路事情のよい国道での事故が十八件と全体の七五%を占めていることからもいえそうです。

時間別では、午後三時から六時の薄暮時に十二件、月別では、十一月から三月までの冬期間に十二件と、いずれも路面の積雪・凍結などによる道路条件に合った慎重な運転をしないことが原因になっています。

事故車の住所別では、今金町在住者が九件（前年比六六・七%減）北檜山町三件、札幌他十二件と町外者による事故が増加しており、そのうち会社員八件、農業従事者九件が半数を占めています。

井村さん百万円を豊寿園に寄付



特別養護老人ホームの豊寿園には町内外から多くの善意が寄せられておりますが、このほど種川駅前の井村金蔵さん（74歳・写真）から豊寿園のリハビリ施設に役立ててくださいと百万円を寄付しました。

◎愛情銀行から

■金銭預託・払い出し

▽大倉啓太郎さん（昭和町）から光の里学園に三千円・今金小百合保育園に二千円

▽今金日赤奉仕団（代表伊藤トミノさん）から火災見舞金二万円を伊藤伊三郎さんへ

▽重村寛幸さんと重村栄吉さん（昭和町）から二万円を豊寿園・二万円を光の里学園へ。

■物品・払い出し

▽今金日赤奉仕団からおしめ七十七枚を八雲国立療養所へ。

▽種川婦人会（代表高橋政子さん）からおしめ二百五十枚を豊寿園へ。

▽稲穂婦人会（代表佐々木マツノさん）からおしめ六十枚を豊寿園へ

それぞれ寄付しました。

冬の道路を快適に

身近な除雪に協力を

雪に囲まれた長い冬の生活―。楽しいウィンタースポーツに欠かせない雪も、ときには生活を脅かす大敵に変わるものです。とくにこれからは、ドカ雪や急激な融雪シーズンに向います。

今号は、冬の生活に欠かせない除雪にスポットをあててみましょう。

町では、みなさんの要望をできるだけ取り入れようと、毎年機動力の整備を図っていますが量的にも現状では一〇〇%は無理です。除雪は、第一に市街地や国・道々に接続する路線、次に、毎日の通学路をはじめ、生活道路などに必要な主要道路を優先的に行う一級路線と、その他の二級路線とに分け、効率的に運行しています。

現在、町内の町道認定路線は、二百二十路線の総延長二百六十㌔。これに対して今冬の除雪計画路線は、九十五路線の百十㌔を予定。全体の五〇%が限度で、このうち、美利河・花石・中里光台地区は幹線が国道のため民間業者に委託しています。

これらの路線の多くは、雪を道路わきに押し寄せる拡幅ですが、なんといっても大型の機動力が必要です。町の機動力はシャベルローダー二台、グレーダー一台、ダンプ除雪車三台と合わせて六台を配置。これを市街地・種川・神丘・八束・金原方面の五地区に分け、早朝六時に出動しています。

一回の排雪に四百万円

「今年の積雪はもう一㍍に達し、今日排雪してくれなかったら車は通行止めにしなくては、とても歩けません。」と交通安全に気をくばる市街地の天満清治さん（八幡町）は「これでやっと安心です。」と二月二十五日から始まった、市街地道路の排雪作業に合わせて中小路の雪出しに汗だくでしたが、この排雪作戦も民間のブルドーザーや運搬トラックを借り上げて行うもので、昨年二日半で処理した排雪も「この積雪では十日間はかかる。その費用は四百万円ほどです。」と除雪費に頭が痛い町建設課では、各支線の幅出しやこれからのドカ雪に備えて再度、除雪計画をたてなおす方針です。

▼雪のハネ場がない今金市街の道路は1メートル近い高さに積りブルで押した雪山は軒先までとどくありさま



▼「これではこまります！」
町民センターの駐車場に放置された車があると除雪もできません。



路上駐車はやめて

一方、除・排雪の最大の障害は路上駐車です。「一度除雪車に乗ってみてください。どんなにじゃまなものか……」と町除雪担当の職員は嘆く。とくに吹雪などは駐車していることがわからず、除雪による事故が起きては大変です。

やむをえず置く場合には、必ず赤い布などで表示をしておき、車の持ち主の氏名・連絡先・電話番号などを明示してください。

これら除雪作業を能率的にキメ細かくするためには、なんといっても地域のみなさんの協力をいただかなければなりません。

「せっかく玄関前の雪投げが終ったのに」と戸口や支線分岐点をふさがれた苦情を聞きますが、除雪は機械で行うのと幹線の確保が急がれるためやむをえませんので、道路に投げないようお願いします。雪捨て場は昨年と同じく今金橋東側三百㍍の場所です。これ以外の場所には絶対投げないよう協力ください。

なお、今冬は屋根に積もった雪・氷の落雪により歩行者が怪我をする事故も起きています。融雪時前、早めに雪おろしをするなど、住宅の周囲の雪捨てはぜひ町内会や近所の方々が協力し合って実現したいものです。



▶キメ細かな除・排雪はみなさんの協力で―

「歩くスキー」で自然を楽しもう

冬の自然は、厳しい寒さの中にもいろいろな楽しみや活動の場を与えてくれます。

中でも、スキーは、多くの人びとに親しまれ冬の生活を楽しく過ごすうえで大きな役割を果たしていますが、最近「歩くスキー」を行う人達が各地でよく見かけます。

この歩くスキーは、単にスキーの歩く段階の基本技術として行っているものではなく、冬の自然の中を自由に歩き、滑走するなど、「歩くことを中心とした運動」が手軽に楽しくできることから一般にみなおされてきたものです。



▲今村教授の実技指導に受講者も真剣だ

歩くスキーの特色は①老若男女を問わず、幼児から高齢者まで能力に応じてできる②手軽に空地や野山を滑走し、冬の自然を楽しみながら体力づくりができる③特別指導を受けなくても簡単に行える④応用が自在で、スキーツアー・スキーオリエンテーリング等個々の能力に合わせて楽しめる⑤けがの心配が少なく、それでいて冒険心を味わえる⑥用具が比較的安くそろえられるなど、多くの長所があります。

町教育委員会では、この歩くスキーを町民の体力づくりの一つとして普及しようと、一月二十二・二十三日の両日、日本の歩くスキーの命名者である道教育大学の今村源吉教授を招いて、初の「歩くスキー指導者講習会」を開きましたが、これを契機として、これからは町民のみなさんと歩くスキーの楽しい行事を計画していきます。

現在は、神丘、八束校の子供たちを中心に指導していますが、そのほか総合体育館に大人用三十台、子供用五十台の歩く専用スキーを購入してありますので、お気軽に利用してください。

とかく、家の中にとじこもりがちな長い冬の生活を、この歩くスキーで快適に過ごしてみてはいかがでしょう。

神丘小学校、教育実践で全道表彰

算数科目の指導計画を中心に複式教育の研究、充実に取り組み、成果をあげた神丘小学校（西里貞嘉校長）が昭和五十一年度の道教育実践表彰を受賞しました。

神丘小学校は、昭和四十八年度から五十年度までに「単復教育」の文部省研究指定校として、強い意志と豊かな感受性を持つ子どもの育成を目標に、きめ細かな学習指導、なかでも算数科目の効果的な指導計画に取り組み、管内へき地校の複式教育に大きく貢献したことが認められたものです。



研究に励む神丘小の先生たち

青年農業者会議の本道代表に天沼さん

北海道と道4Hクラブ連絡協議会主催の五十一年度全道青年農業者会議は一月二十六日、札幌市で開かれ、檜山管内代表の天沼憲さん（21歳・神丘・写真）が「水田と酪農の複合経営を目ざして」の実践活動の成果を発表、稲作部門十二名の参加者の中から最優秀賞を獲得し、三月に東京で開かれる全国会議に本道代表として出場することになりました。



表彰おめでとう

加藤さんには厚生大臣表彰

昭和二十四年から五十年十二月までの二十六年間、民生児童委員（昭和三十二年から十八年間、町社会福祉協議会理事として種川地域の社会福祉の増進に貢献した加藤国恵さん（71歳・種川写真）に厚生大臣から表彰状と記念品が贈られました。



目だつ！住宅火災

子どもの火遊び・たばこに注意

町内での昨年一年間の火災発生は建物七件、林野二件で、損害額、一千百二十一万五千円となっていますが、とくに目だったことは建物七件のうち、五件が住宅であり、その原因は子どもの火遊び三件、たばこの不始末二件による出火となっています。

子供の火遊びを防ぐためには、やはり大人が常日頃から十分に注意していることが大切です。しかし、火に対する興味を一方的に禁止することは、その場はよくても結局人の目のないところで、こっそりかくれて遊ぶなどの弊害がでて、かえって危険です。その年齢に応じ火の正しい知識なり恐ろしさというものも合わせて厳しくしつけることが大切です。

二月はとくに空気が乾燥する季節でもあり、全国的に火災が多発する傾向にありますので、暖房器具の点検、寝る前、外出前には必ず火の元を確かめましょう。



各家庭の防火徹底を呼びかける今金分団

各消防分団が合同で出初め式

町消防団恒例の出初め式は、毎年、美利河・花石・種川・今金の各分団ごとに行われていましたが、今年は各分団が一堂に参加し、町民センターで盛大に行われました。

市街地のパレードは、今金分団員六十人が制服もりりしくきびきびした動作で市中を行進し、町民に火災予防を呼びかけていました。

なお、永年勤続により次の方々が表彰されました。

▽道知事表彰　二十年勤続＝田中義雄（花石）十年勤続＝秋山実（種川）▽道消防協会長表彰　特別功績章＝加藤春吉（花石）

三十年勤続＝及川良・栗山幸雄（今金）山石哲雄・早坂悦次郎・安達一夫・安達芳雄・佐々木徳三郎（種川）篠田正喜・阿部久治・緒方一雄・安藤源次郎・日下昭二郎・畑沢留吉（花石）二十年勤続＝柳良治・芳賀鈴夫（今金支署）十年勤続＝内ヶ島和之・永井敏治・安西昭雄・山口勇・螺良孝司（今金）佐竹紀道・山田忠夫（花石）

また、長い間副団長として活躍した松井正男さんの他界により新しい幹部は次のようになりました。

▽団長　多田貞太郎▽副団長　阿部正夫・及川良▽今金分団長　山崎敏雄▽同副分団長　河村昭夫

◎町職員の人事◎

（一月一日付）▽新採用△教育委員会体育振興係　福地邦夫（十二月三十日付）▽退職△菊地栄子（保健婦）

消費生活だより

自動販売機の苦情など連絡先表示の徹底を

「省力化のエース」とか「コインさえあれば真夜中でも、簡単に商品を購入できる」などで自動販売機の普及が目立って設置されています。しかし、この便利さのかげに、最近、たばこの機械が倒れ幼児が死亡するという痛ましい事故、無人で物が買えることから青少年の非行化につながるといった問題、お金を入れても商品が出ないなどさまざまな問題が生じています。

国においては、従来から自動販売機に故障・苦情に対する連絡先を表示した統一ステッカーをはるよう業界の指導を行っています。このステッカーには、管理者の①電話番号②管理者名③所在地④「午後9時以降は翌日にご連絡下さい」の4項目を表示することになっています。

道としても、自動販売機の規制窓口の一元化、業界に対する指導の強化、統一ステッカーのちょう付の徹底、青少年非行化防止対策、品質表示などについて要請を行っていますが、みなさんからも適切な表示がなされていない販売機がある場合には、小売店などに対し、要請されるようお願いします。

ひろがる輪

魅力ある青年活動を目ざす

今金町青年団体連絡協議会



青年研修大会

っている今金町青年団体連絡協議会の青年たち。今年は〝みつめよう我らの活動、我らの青春〟をテーマに一月九日、総合体育館に各地区から三十人の若者が参加して「青年研修大会」を開きました。（写真）

大会では、停滞ぎみの青年活動を盛り上げるために「各団員が積極的に勉強する意識を持つ」「各団員一人ひとりが指導者の立場になって行事を盛り上げよう」「市街地の若者の加入を呼びかけよう」などの問題点を熱心に討議するなど、魅力ある青年活動を目ざす若者の心意気を示していました。

おしらせ



■保育所の入所児を募集

町では今金保育所と今金季節保育所及び今金小百合保育園の入所児童の申請を同時に受け付けします。入所希望者は2月23日から2月26日までの間、役場3階研修室において受け付けしますので前年の課税所得を証明する書類、稼働証明、印鑑を持参のうえ、申請してください。なお、季節保育所等の保母さん16名を募集します。希望者は3月5日まで役場福祉課へ。

■婦人科（子宮がん）検診

北海道対がん協会の移動検診車による婦人科がん検診を3月12日14、15日に行います。対象は30歳以上の婦人で受診人員　350名です。申込は受診料　900円（70歳以上は無料）を添えて3月5日までに福祉課衛生係へ申し込みください。

■老齢年金の受給者は現況届を

昭和51年2月15日以前から、国民年金の老齢年金、通算老齢年金を受けている方は、毎年1回、2月15日までに「国民年金受給権者現況届」を提出することになっています。1月中に社会保険庁から届出用紙（ハガキ）を直接お送りしていますので、住所や氏名など必要事項を記入し、年金係で町長の証明印をもらい切手を貼って投函してください。現況届を提出しないと6月期以降の年金が受けられないことがありますので、忘れないよう提出してください。

■固定資産税課税台帳の縦覧を

昭和52年度の固定資産税が決まりました。役場税務課では3月1日から3月20日までの間、土地、家屋の評価額などを記載した固定資産税課税台帳をおみせします。

あなたの資産にかかる税金はなになにのか一度確認してはいかがでしょうか。

■入学通知書は届きましたか

ことし、小学校に入学する児童は昭和45年4月2日から昭和46年4月1日までに生まれた児童です。

1月30日に入学通知書をお送りしましたが、まだ届いていなかったり、通知書の内容に不明な点がありましたら町教育委員会へご連絡ください。

■利別川敷地使用許可の更新を

一級河川利別川の河川敷地使用の許可は3年ごとに更新することになっています。許可を受けて使用している農家の方で引き続き使用される方は、開建利別川改修事務所管理係で手続きしてください。

■建築基準法講習会の開催

道では、建築関係技術者を対象に法令講習会を次のとおり開催します。

▷3月11日　函館市共愛会館
▷受付　2月14日から各支庁建設指導課及び各町建築係で受付け定員　200名になり次第締切り。
▷内容　テキスト「実務に役立つ法令解説」により、法令の基本的事項並びに特殊建築物の用途別規定内容を重点的に解説する。

■NHK学園高校の新入生募集

渡島・檜山管内で現在60名の方が勉強中のNHK学園は、放送を利用して独自の教育を進める普通科の通信制の高校です。

働きながら学ぼうとする勤労青少年や家事に従事しながら学ぼうとする人々のために、年代も10代から60歳以上と巾広く、職業もあらゆる方面に広がっています。

▷募集人員　2,000名▷募集期間2月10日～3月15日（新中卒は3月31日まで）▷卒業後の資格は全日制、定時制高校と全く同じです。▷詳細、申込みは函館局のNHK学園の係までどうぞ。

■前月号の歳末助け合い記事訂正

1月号「歳末助け合い」文中の今金ライオンズクラブから3万円は5万円、光の里、豊寿園の各4千円は各3千円の誤りでしたので訂正します。なお、新たな収入により町内短期入院患者47人に各1,500円、火災受災者3件に各5千円が贈られました。

■昔の写真をお貸しください。

町では今年80周年を迎えるにあたり、昭和30年以前の写真を収集しています。現在、石橋カメラ店のご協力により一部公開展示をしていますが、「こんなのもある」という方は役場広報係までお連絡ください。開基80周年記念や町史編さん資料に役立てますので、ご協力をお願いします。

家庭教育シリーズ

よき教育ママさんに

◎お使いや清掃をいやがる子　そんな子どもに　だれがするのか。

昭和のひとけた生まれのおとうさん、おかあさんが小学校のころ、学校でいたずらをするとその罰に、清掃や校庭の草むしりを先生が命じた。また、勉強をなまけたといっては、漢字を百字書けなどといって、書きとりを罰としてやらされたことが記憶にあると思う。

家庭でも、窓ガラスをわった罰に、お使いにやらされる。ケンカをした罰で、フロに水を入れさせる。こうしたしつけは、家庭によってはいまでも行っている向きが少なくない。

だが、作業とか勉強は、決して罰のつぐないのためにするものではない。作業とか勉強は、それ自身に値うちのある行為なのです。そのため、いまの学校では、子どもが興味をもって、自ら進んで作業をしたり、勉強したりするように指導している。

しかるに、作業や勉強を罰としてやらせることは、たいせつな作業や勉強が、子どもにとっては非常に価値のないものになってしまって、子どもは、それがために勉強を軽視し、しまいには作業や勉強をいやがり、それを苦痛に感じるようにすらなるのである。

家庭でも、罰のつぐないに手伝いをさせていると、子どもはだんだん手伝いをしなくなる。そのことは、手伝いが非行と結びついて、勤労が不純なものに感じられるからである。家庭でも、学校でも十分気をつけたいものである。

（神丘小学校長）

保健の窓

人間にとって快適な湿度は五〇%から七〇%であるといいます。ところが、石油ストーブを燃焼し続けると室内の湿度は極度に低くなります。ボールに水を張り室内湿度を下げないくふうをしてみましょう。最近は蒸気発生装置も売り出されており幼児や病人など気管の弱い人には最適な機械です。これがあると、たちまち湿度は上がって全体が暖かいような感じになります。つまり空気が乾いていると体表面が蒸発するので熱が奪われより寒く感じるのですが、湿度が上がってみると、暖かく感じるわけです。

2月28、1日に納税相談

確定申告はお早めに

昭和五十一年分の所得税の確定申告と納税は、二月十六日から三月十五日までです。

所得税は、自分で所得や税額を正しく計算して申告し納税する申告納税制度になっています。この日程外では直接税務署に申告しなければならず、また、無申告のときは各種の控除などが認められなくなります。申告書は郵送でもけっこうですので忘れず期限までに申告しましょう。



税務署では、この期間中、所得や税額の計算方法と、申告書の書きかたなどについていつでも相談に応じています。なお、二月二十八日と三月一日に今金町役場で納税相談を行いますので、気軽にご利用ください。

申告の必要な方は①商業、農業飲食業などの事業をしている方②地代、家賃、配当などの所得があった方③山林、宅地、その他資産を譲渡したなどで昨年中に所得があった方④給与所得者で、家賃、配当などの「給与以外の所得」があった方―などです。

申告をするときには、源泉徴収票や控除のために必要な生命保険料、損害保険料、医療費、雑損などの証明書、明細書類、譲渡のときの売買契約書など早めに準備しておいてください。

申告すれば税金のもどる人

確定申告をすれば税金のもどる人の申告は、一月から税務署、役場で受け付けていますので、なるべく早めに申告してください。

なお、四十九年に住宅取得控除の適用を受けた方、五十一年に住宅を新築、購入された方で、一定の要件を備えている場合には、税額から最高三万円まで差し引かれますので忘れず申告しましょう。



■かわいい演技にお年寄りも大喜び

「おじいちゃん、おばあちゃんに、ぼくたちの踊りを見てもらおう」と、一月二十四日今金保育所の幼児十八人が豊寿園を慰問、自分たちの孫のようなかわいい幼児の演技にお年寄りたちは盛んな拍手を送り大喜びでした。

住民の動態

	前月に比べて
人口	9,491 (−3)
男	4,684 (−3)
女	4,807 (0)
世帯	2,705 (0)

(12月31日現在の住民基本台帳人口)

◎たんじょうおめでとう

中島 勝成(正勝 長男)中里
笹井由美子(政司 長女)種川
竹内 亜美(信夫 二女)南栄町
町河 恵治(芳明 長男)寒昇
伊庭野松美(功 二女)栄町
菅原 隆行(善明 長男)中里

◎いつまでもしあわせに

枝川 道雄=谷 栄恵 神丘
黒須 彰=湯元紀美子 緑町
池田 常誓=阿知波真喜子 田代
永野 勝晴=鈴木 和子 大和町
岡林 篤=天満 光子 八束
宮北 実=鈴木 洋子 大和町

◎おくやみもうしあげます。

吉野 フミ 七十七歳 美利河
本田 才次 八十五歳 栄町
相原 久松 六十五歳 末広町
山崎喜五郎 七十八歳 曙町
中島 勝成 零歳 中里
熊沢 トヨ 五十五歳 種川
飯田 た免 八十二歳 金原
服部 義守 六十歳 御影
栗原ミヨシ 六十六歳 南栄町
山田 タミ 七十歳 栄町

(十二月分)

発行・北海道今金町役場 編集/企画課広報係 印刷/㈱長門出版社 52・2・21

―広報―トピックス



■豆剣士六十名が級位審査に合格

新しい武道館が総合体育館に完備されて以来、少年少女の入門が増えた今金剣道連盟では、一月八日から一週間、毎日寒ゲイ古に励み、十五日の納会には六十人の豆剣士が級位審査に合格。汗をかいた後は、お母さんたちの作ったおしるこを食べ、今年も元気にメンッ!コテッ!と粘り強くがんばろうと誓い合っていた。